

# みんなの活動だより

発行: MISHOP広報部会

2026.5

96

## 「Mitaka みんなの防災フェスタ」に MISHOP が出展



「楽しく学べる、役に立つ!」をテーマに、楽しみながら防災について学べる「第3回Mitakaみんなの防災フェスタ」が、3月20日(金・祝)、三鷹中央防災公園で開催されました。MISHOPは「キッズ・ワークショップfor防災」ブースを出展。「避難所でもできる『あそび』 外国籍ボランティアと一緒に作る、ペーパークラフト」と題し、けん玉、オリジナルシール、折り紙防災スリッパのワークショップを行いました。ワークショップでサポートにあたったのは英国、豪州、米国、中国、台湾、韓国出身の9人と日本人会員4人。あいにくの雨模様の中、子ども72人、大人38人が途切れることなく訪れ、工作に取り組みました。

## International Residents Actively Participate in “Mitaka Community Disaster Prevention Festival”

The “3rd Mitaka Community Disaster Prevention Festival,” an event where participants can learn about disaster preparedness while having fun, was held on Friday, March 20 (the Spring Equinox national holiday) at Mitaka Chuou Bosai Park. MISHOP set up a “Kids’ Workshop

for Disaster Preparedness” booth. We held workshops where participants, together with international volunteers, created paper crafts that can be made even in evacuation shelters, including kendama (a traditional Japanese toy), original stickers, and origami slippers for emergency use. The workshops were supported by nine volunteers from the UK, Australia, the US, China, Taiwan, and South Korea, along with four Japanese members. A total of 110 children and adults visited the booth and enjoyed the crafts.

## 春の課外ラウンジ「お花見」を46人が楽しむ

春の課外ラウンジ「お花見 OHANAMI Picnic」が3月24日(火)午後、井の頭公園西園文化交流広場で開かれました。中国、スペイン、ウクライナ、台湾、メキシコ、カナダ、コンゴ、韓国出身の13人と日本人会員23人が参加し、サクラの花の下に敷物を広げて、軽食を食べながら楽しく歓談しました。

## “Ohanami (Cherry Blossom Viewing) Spring Extracurricular Lounge Event Enjoyed by 46 Participants

The spring extracurricular lounge event, “Ohanami Picnic,” was held on the afternoon of Tuesday, March 24, at Inokashira park, West park, Bunka-koryu-hiroba. Thirteen participants from China, Spain, Ukraine, Taiwan, Mexico, Canada, the Democratic Republic of the Congo, and South Korea, along with 23 Japanese members, spread out blankets under the cherry blossoms and enjoyed lively conversation over snacks.



## 日本語ボランティア研修会に24人出席

MISHOP理事で、ルーテル学院大学教授のジャン・E・プレゲنزさんを迎えて、日本語ボランティア研修会「日本語学習者に寄り添うヒント～ジャン先生の日本語学習経験～」が3月14日(土)、MISHOPで開催されました。日本語教室、子ども教室、LLJで活動中のボランティアら24人が熱心に耳を傾けました。質問もたくさん出て、ジャン先生が丁寧に答えてくださいました。

### 【感想シートから】

- LLJや子ども教室で日本語を教えている私にとって、ジャン先生のお話はとても勉強になり、今日の機会に参加させていただき、本当に感謝しています。印象に残ったお話は「先生と生徒と一緒に学ぶ姿勢が大切」とおっしゃったことです。日本語を教える中で、敬語など私自身も分からないことが多くて、よくChatGPTなどを使って調べながら、一緒に勉強することがあります。その度に「私は日本語を教える立場なのに分からないことが多い…」と落ち込むこともあります。でも、ジャン先生のお話をお聞きして、落ち込むことはなく、一緒に日本語を学んでもいいんだ!と前向きになりました。
- ジャン先生のお話は楽しく参考になることがたくさんありました。また皆さんの活動の様子も聞けて有意義でした。なかなか深い話もありましたが、どこまで個人の中に入れるのか、私は少し自信がないかなとも思いました。ありがとうございました。
- 2時間とは思えないぐらい充実した研修でした。先生の深い見識とみなさんからの悩みや質問に答える際の実用性に感服しました。いつもすばらしい研修を企画していただきありがとうございます。



## Twenty-four Japanese Language Volunteers Attend Training Session

On Saturday, March 14, MISHOP hosted a Japanese language volunteer training session titled “Tips for Supporting Japanese Language Learners: Professor John E. Plagens’ s Experience of Learning Japanese,” facilitated by John Plagens, a MISHOP board member and professor at Japan Lutheran College. Twenty-four volunteers currently active in Japanese language classes, children’ s classes, and the LLJ listened intently. Many questions were raised, and Professor Plagens answered them thoughtfully.



「春の課外ラウンジ」の会場となった都立井の頭恩賜公園は、交通の便が良く、緑が豊かなことから多くの人に親しまれています。5月17日(日)12時からはMISHOP主催の「国際交流ウォークラリー」が開かれ、輝くような新緑の中を80人が歩きます。当日おてつだいでついでかたじけなくもうで手伝いしてくださる方は事務局にお申し出ください。